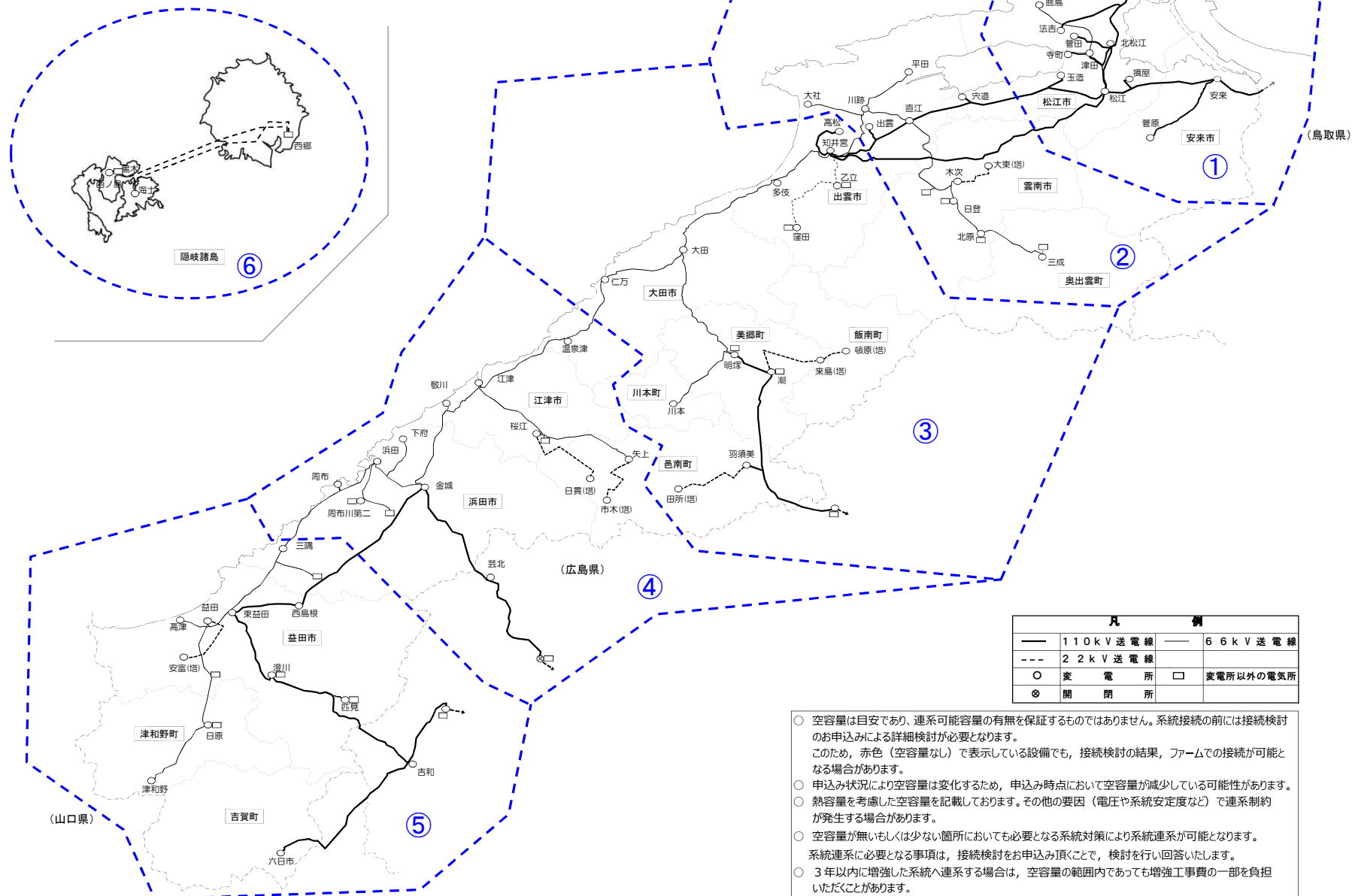


系統空容量マップ（110kV以下）（島根県）

【隠岐諸島の系統連系について】⑥

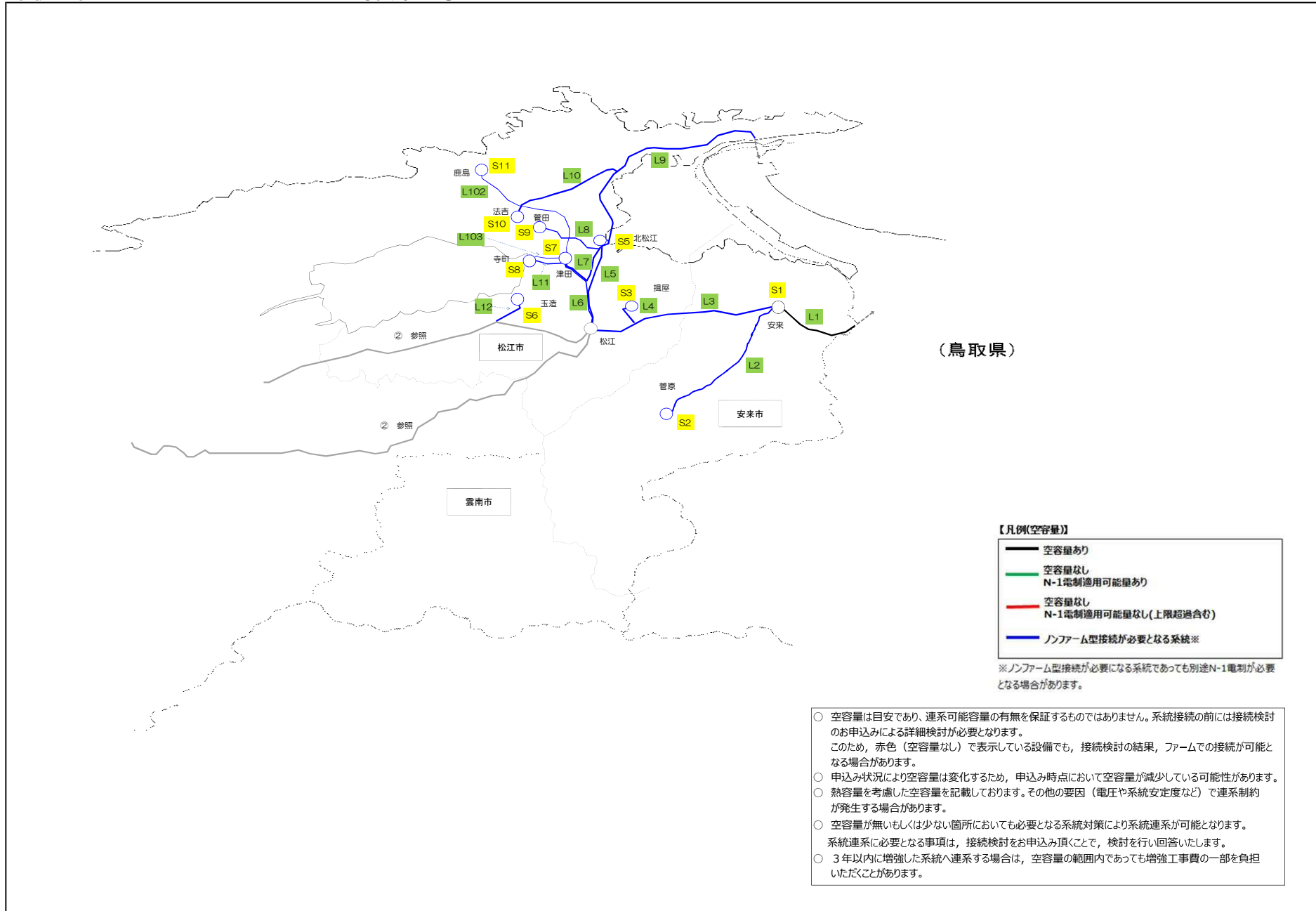
・系統連系を希望される場合、系統連系に係る当社への申込み（事前相談、接続検討（系統アクセス検討）、系統連系申込み）において、個別に検討、協議させていただきます。



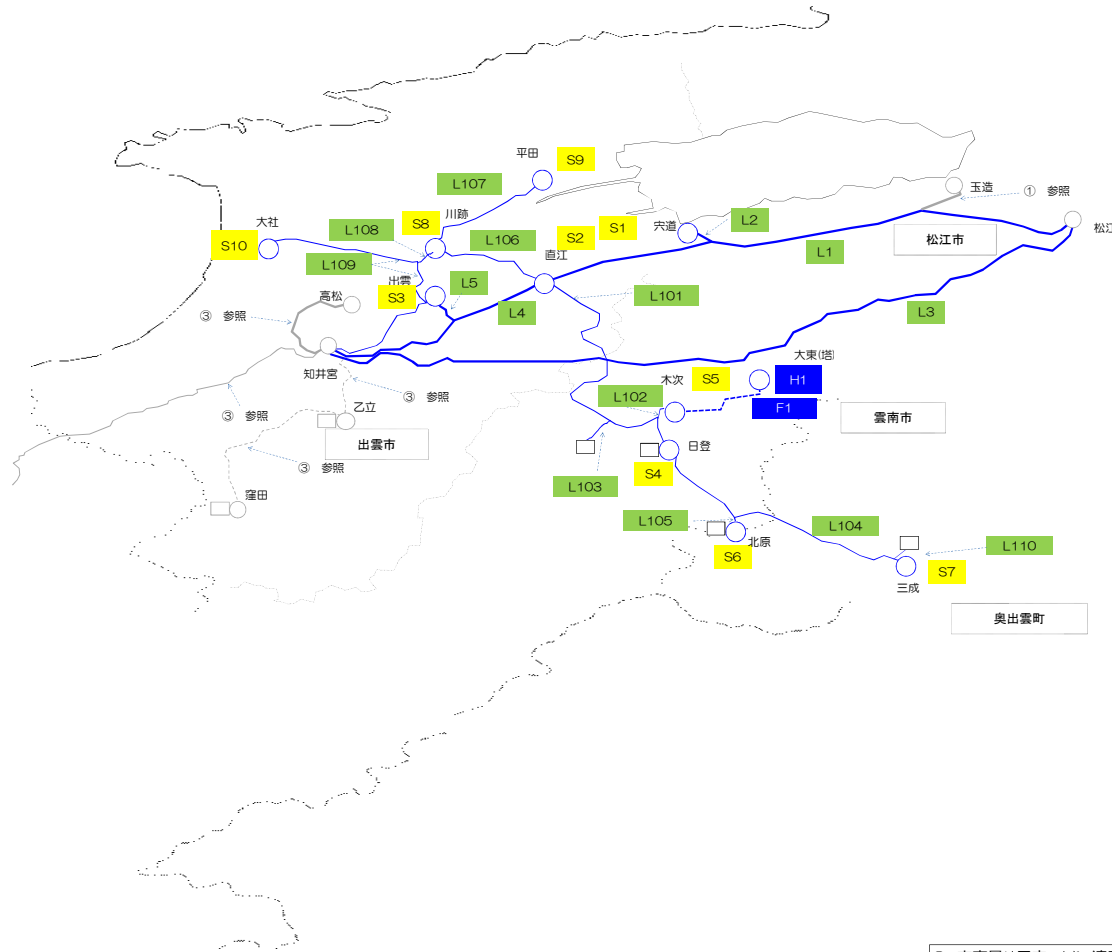
凡 例	
—	110kV送電線
---	22kV送電線
○	変電所
□	変電所以外の電気所
⊗	開閉所
—	66kV送電線

- 空容量は目安であり、連系可能容量の有無を保証するものではありません。系統接続の前には接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。このため、赤色（空容量なし）で表示している設備でも、接続検討の結果、ファームでの接続が可能となる場合があります。
- 申込み状況により空容量は変化するため、申込み時点において空容量が減少している可能性があります。
- 熱容量を考慮した空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。
- 空容量が無いもしくは少ない箇所においても必要となる系統対策により系統連系が可能となります。系統連系に必要な事項は、接続検討をお申込み頂くことで、検討を行い回答いたします。
- 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても増強工事費の一部を負担いただくことがあります。

系統空容量マップ（110kV以下）（島根県）①



系統空容量マップ（110kV以下）（島根県）②



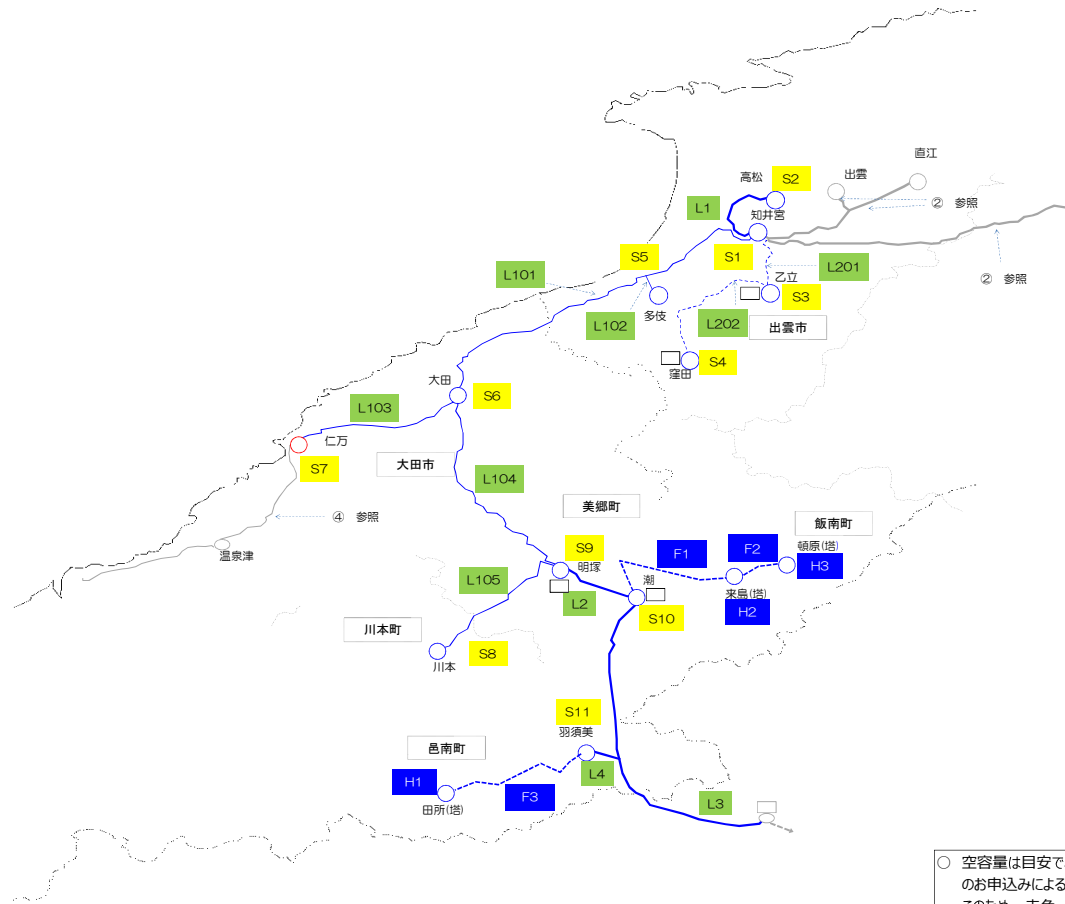
【凡例(空容量)】

- 空容量あり
- 空容量なし
N-1電制適用可能量あり
- 空容量なし
N-1電制適用可能量なし(上限超過含む)
- ノンファーム型接続が必要となる系統※

※ノンファーム型接続が必要となる系統であっても別途N-1電制が必要となる場合があります。

- 空容量は目安であり、連系可能容量の有無を保証するものではありません。系統接続の前には接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。
このため、赤色（空容量なし）で表示している設備でも、接続検討の結果、ファームでの接続が可能となる場合があります。
- 申込み状況により空容量は変化するため、申込み時点において空容量が減少している可能性があります。
- 熱容量を考慮した空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。
- 空容量が無いもしくは少ない箇所においても必要となる系統対策により系統連系が可能となります。系統連系に必要な事項は、接続検討をお申込み頂くことで、検討を行い回答いたします。
- 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても増強工事費の一部を負担いただくことがあります。

系統空容量マップ（110kV以下）（島根県）③



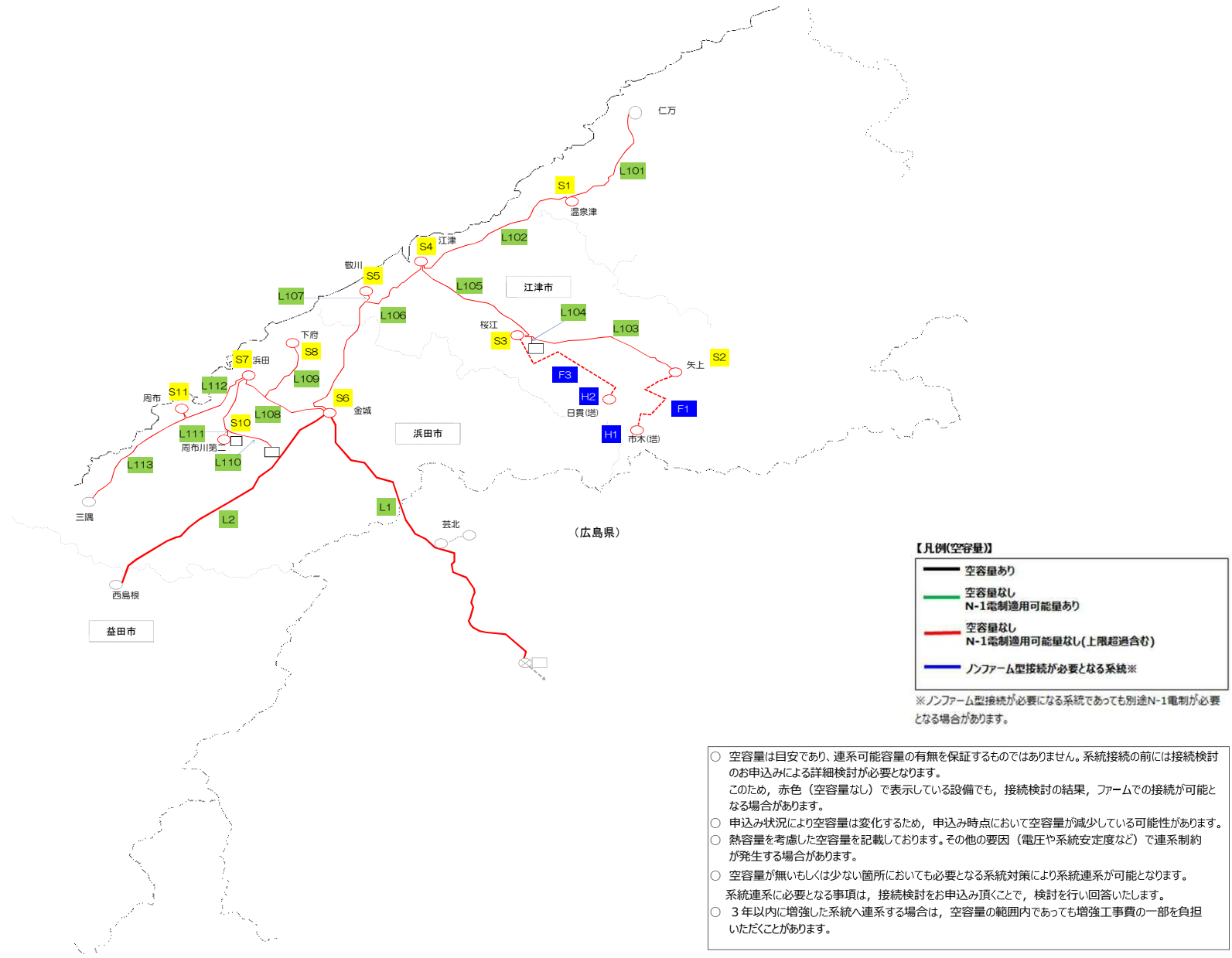
【凡例(空容量)】

- 空容量あり
- 空容量なし
N-1電制適用可能量あり
- 空容量なし
N-1電制適用可能量なし(上限超過含む)
- ノンファーム型接続が必要となる系統※

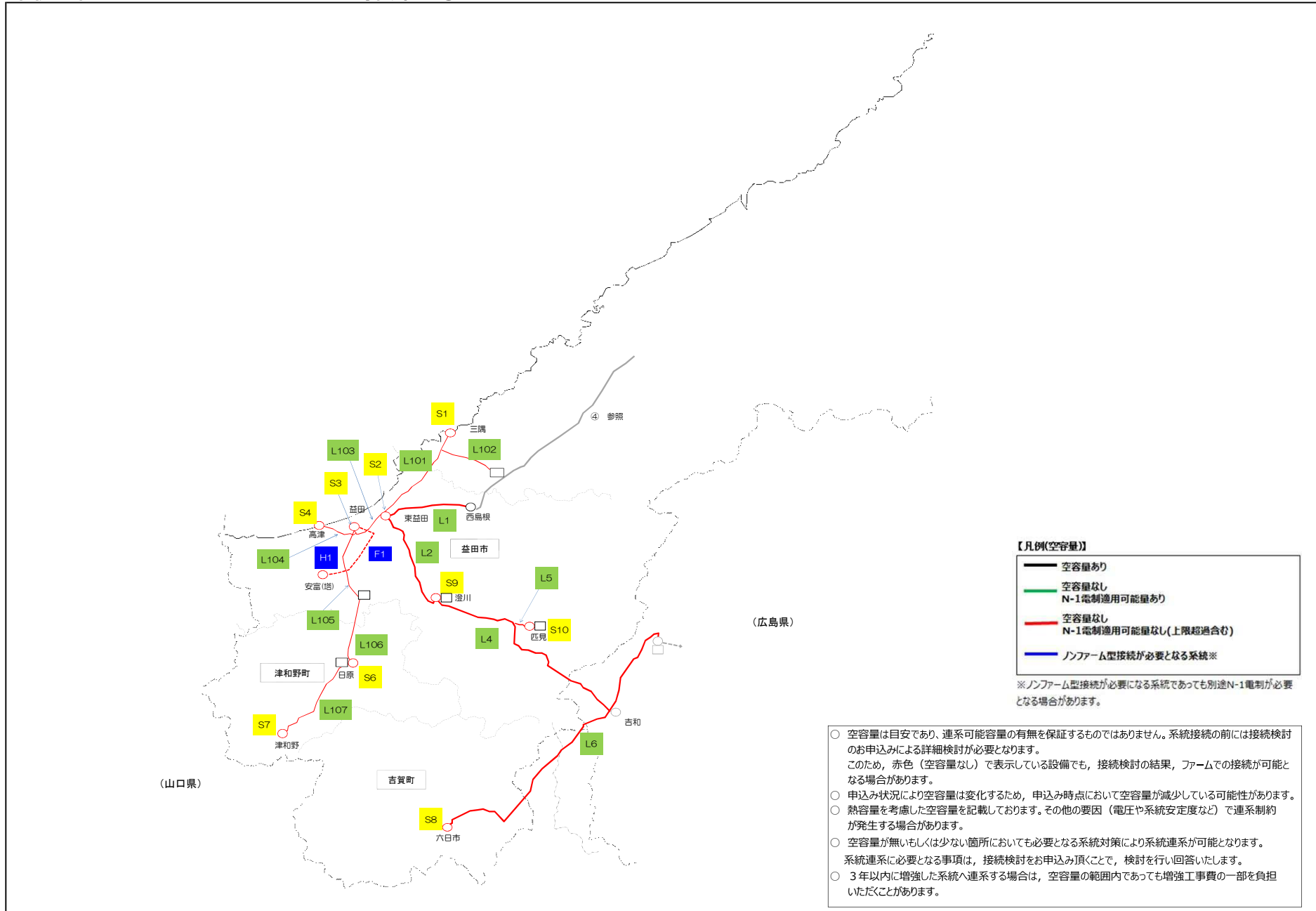
※ノンファーム型接続が必要となる系統であっても別途N-1電制が必要となる場合があります。

- 空容量は目安であり、連系可能容量の有無を保証するものではありません。系統接続の前には接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。
このため、赤色（空容量なし）で表示している設備でも、接続検討の結果、ファームでの接続が可能となる場合があります。
- 申込み状況により空容量は変化するため、申込み時点において空容量が減少している可能性があります。
- 熱容量を考慮した空容量を記載しております。その他の要因（電圧や系統安定度など）で連系制約が発生する場合があります。
- 空容量が無いもしくは少ない箇所においても必要となる系統対策により系統連系が可能となります。
系統連系に必要な事項は、接続検討をお申込み頂くことで、検討を行い回答いたします。
- 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても増強工事費の一部を負担いただくことがあります。

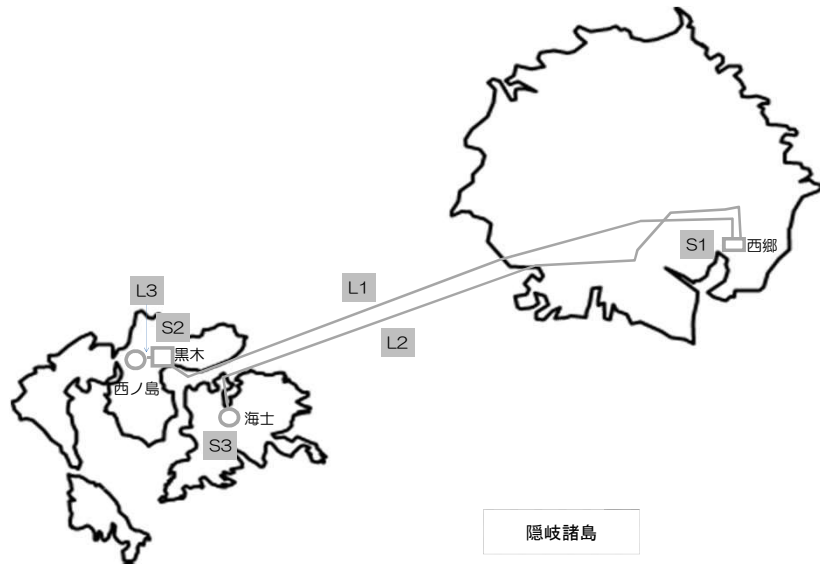
系統空容量マップ（110kV以下）（島根県）④



系統空容量マップ（110kV以下）（島根県）⑤



系統空容量マップ（110kV以下）（島根県）⑥



【凡例(空容量)】

—	空容量あり
—	空容量なし N-1電制適用可能量あり
—	空容量なし N-1電制適用可能量なし(上限超過含む)
—	ノンファーム型接続が必要となる系統※

※ノンファーム型接続が必要になる系統であっても別途N-1電制が必要となる場合があります。

【隠岐諸島の系統連系について】

○ 系統連系を希望される場合、系統連系に係る当社への申込み(事前相談、接続検討(システムアクセス検討)、系統連系申込み)において、個別に検討、協議させていただきます

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 - ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
 - ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
 - ※3 4回線送電線(4バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し3回線(3バンク)分の容量を記載
 - ※4 1バンク変電所のため、1バンク故障時の対応を考慮し、移動機容量を記載
- (2) 空容量は図面であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づき空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 - #1 1回線送電線のため
 - #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 - #3 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
 - #4 2回線送電線の分割運用等のため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (9) 個々の電線の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (10) 隔域諸島において系統連系を希望される場合、系統連系に係るご申込み(事前相談、接続検討(系統アクセス検討)、系統連系申込み)において、個別に検討、協議させていただきます。

○シート①

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制運用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム運用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
L1	安来米子線	110	2	398	199	熱容量	199	199	可	199	—	—	—	
L2	菅原安来線	110	2	170	85	熱容量	79	0	可	85	適用	—	基S24-1	
L3	松江安来線	110	2	264	132	熱容量	126	0	可	132	適用	—	基S24-1	
L4	揖屋支線	110	2	170	85	熱容量	85	0	可	85	適用	—	基S24-1	
L5	北松江松江線	110	1	209	209	熱容量	209	0	不可 #1	—	適用	—	基S24-1	※1
L6	津田線	110	1	209	209	熱容量	209	0	不可 #1	—	適用	—	基S24-1	※1
L7	北松江津田線	110	1	209	209	熱容量	209	0	不可 #1	—	適用	—	基S24-1	※1
L8	菅田線	110	2	176	88	熱容量	88	0	可	88	適用	—	基S24-1	
L9	境港線	110	2	264	132	熱容量	0	0	可	120	適用	—	基S24-1	
L10	法吉線	110	2	144	72	熱容量	72	0	可	72	適用	—	基S24-1	
L11	津田寺町線	110	1	42	42	熱容量	42	0	不可 #1	—	適用	—	基S24-1	※1
L12	玉造支線	110	2	222	111	熱容量	111	0	可	111	適用	—	基S24-1	
L102	鹿島線	66	2	72	36	熱容量	34	0	可	36	適用	—	基S24-1	
L103	寺町線	66	1	25	25	熱容量	25	0	不可 #1	—	適用	—	基S24-1	※1

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制運用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム運用系統		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
S1	安来変電所	110	22	1	14	4	熱容量	4	4	不可 #2	—	—	—	—	※4
		110	6	2	42	19	熱容量	16	16	不可 #3	—	—	—	—	
S2	菅原変電所	110	66	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #2	—	適用	—	基S24-1	※1
		110	6	1	14	9	熱容量	3	0	不可 #3	—	適用	—	基S24-1	※4
S3	揖屋変電所	110	66	2	19	9	熱容量	9	0	不可 #2	—	適用	—	基S24-1	
		110	6	2	42	19	熱容量	19	0	不可 #3	—	適用	—	基S24-1	
S5	北松江変電所	110	22	1	14	4	熱容量	4	0	不可 #2	—	適用	—	基S24-1	※4
		110	6	1	19	9	熱容量	6	0	不可 #3	—	適用	—	基S24-1	※4
S6	玉造変電所	110	6	2	42	19	熱容量	17	0	不可 #3	—	適用	—	基S24-1	
		110	66	2	114	57	熱容量	57	0	可	57	適用	—	基S24-1	
S7	津田変電所	110	22	2	28	4	熱容量	4	0	不可 #2	—	適用	—	基S24-1	※1, ※4
		110	6	2	47	23	熱容量	23	0	不可 #3	—	適用	—	基S24-1	
S8	寺町変電所	66	22	1	9	4	熱容量	4	0	不可 #2	—	適用	—	基S24-1	※4
		110	6	1	23	19	熱容量	19	0	不可 #3	—	適用	—	基S24-1	
S9	菅田変電所	66	6	1	19	19	熱容量	19	0	不可 #3	—	適用	—	基S24-1	
		110	22	1	9	4	熱容量	4	0	不可 #2	—	適用	—	基S24-1	※4
S10	法吉変電所	110	6	2	52	23	熱容量	23	0	不可 #3	—	適用	—	基S24-1	
		110	6	2	38	19	熱容量	19	0	不可 #3	—	適用	—	基S24-1	
S11	鹿島変電所	66	22	2	19	9	熱容量	6	0	不可 #2	—	適用	—	基S24-1	
		66	6	2	19	9	熱容量	9	0	不可 #3	—	適用	—	基S24-1	

○シート②

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制運用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム運用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
L1	松江直江線	110	2	418	209	熱容量	107	0	可	209	適用	—	基S24-1	
L2	宍道支線	110	2	222	111	熱容量	106	0	可	111	適用	—	基S24-1	
L3	松江知井宮線	110	2	418	209	熱容量	184	0	可	177	適用	—	基S24-1	
L4	直江知井宮線	110	2	418	209	熱容量	204	0	可	209	適用	—	基S24-1	
L5	出雲支線	110	2	418	209	熱容量	204	0	可	209	適用	—	基S24-1	
L101	直江日登線	66	2	102	51	熱容量	9	0	可	51	適用	—	基S24-1	
L102	木次支線	66	2	102	51	熱容量	51	0	可	51	適用	—	基S24-1	
L103	三刀屋川支線	66	1	—	—	—	24	0	—	—	適用	—	基S24-1	◇
L104	日登三成線	66	2	86	43	熱容量	16	0	可	43	適用	—	基S24-1	
L105	北原支線	66	2	102	51	熱容量	31	0	可	51	適用	—	基S24-1	
L106	直江川跡線	66	2	208	104	熱容量	55	0	可	104	適用	—	基S24-1	
L107	川跡平田線	66	2	158	79	熱容量	79	0	可	79	適用	—	基S24-1	
L108	川跡支線	66	2	158	79	熱容量	79	0	不可 #4	—	適用	—	基S24-1	
L109	大社線	66	2	86	43	熱容量	43	0	可	43	適用	—	基S24-1	
L110	三成支線	66	1	43	43	熱容量	39	0	不可 #1	—	適用	—	基S24-1	※1
F1	木次大東線	22	1	14	14	熱容量	14	0	不可 #1	—	適用	—	基S24-1	※1

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
S1	穴道変電所	110	66	2	19	9	熱容量	9	0	不可 #2	-	適用	-	基S24-1	
		110	6	2	28	14	熱容量	10	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	
S2	直江変電所	110	66	4	228	171	熱容量	76	0	可	57	適用	-	基S24-1	※3
		110	22	1	14	4	熱容量	4	0	不可 #2	-	適用	-	基S24-1	※4
S3	出雲変電所	110	6	1	19	9	熱容量	5	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	※4
S4	日登変電所	110	6	2	47	23	熱容量	23	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	※1
S5	木次変電所	66	6	1	9	9	熱容量	9	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	
		66	22	2	28	14	熱容量	14	0	不可 #2	-	適用	-	基S24-1	
S6	北原変電所	66	6	2	38	19	熱容量	18	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	
		66	6	1	9	9	熱容量	8	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	※1
S7	三成変電所	66	22	2	19	9	熱容量	0	0	不可 #2	-	適用	-	基S24-1	
		66	6	2	28	14	熱容量	11	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	
S8	川跡変電所	66	22	2	28	14	熱容量	14	0	不可 #2	-	適用	-	基S24-1	
		66	6	2	38	19	熱容量	18	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	
S9	平田変電所	66	33	2	11	5	熱容量	5	0	不可 #2	-	適用	-	基S24-1	
		66	6	2	28	14	熱容量	13	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	
S10	大杜変電所	66	6	2	19	9	熱容量	9	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	
H1	大東配電塔	22	6	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	※1

○シート③

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
L1	知井宮高松線	110	2	418	209	熱容量	209	0	可	209	適用	-	基S24-1	
L2	明塚線	110	2	194	97	熱容量	65	0	可	94	適用	-	基L22	
L3	潮見線	110	2	264	132	熱容量	26	0	可	129	適用	-	基L22	
L4	羽須美支線	110	1	72	72	熱容量	34	0	不可 #1	-	適用	-	基L22	※1
L101	知井宮大田線	66	1	51	51	熱容量	6	0	不可 #1	-	適用	-	基S24-1	※1
L102	多伎支線	66	1	51	51	熱容量	46	0	不可 #1	-	適用	-	基S24-1	※1
L103	大田仁万線	66	1	51	51	熱容量	48	0	不可 #1	-	適用	-	基L22	※1
L104	明塚大田線	66	2	102	51	熱容量	43	0	可	48	適用	-	基L22	
L105	明塚川本線	66	1	51	51	熱容量	51	0	不可 #1	-	適用	-	基L22	※1
L201	乙立線	22	1	12	12	熱容量	9	0	不可 #1	-	適用	-	基S24-1	※1
L202	窪田線	22	1	7	7	熱容量	5	0	不可 #1	-	適用	-	基L22	※1
F1	潮末島線	22	1	14	14	熱容量	14	0	不可 #1	-	適用	-	基L22	※1
F2	末島頓原線	22	1	14	14	熱容量	13	0	不可 #1	-	適用	-	基L22	※1
F3	田所線	22	1	13	13	熱容量	12	0	不可 #1	-	適用	-	基L22	※1

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
S1	知井宮変電所	110	66	2	114	57	熱容量	40	0	可	25	適用	-	基S24-1	
		110	22	2	34	17	熱容量	9	0	不可 #2	-	適用	-	基S24-1	
S2	高松変電所	110	6	1	14	9	熱容量	6	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	※4
		110	22	1	9	4	熱容量	0	0	不可 #2	-	適用	-	基S24-1	※4
S3	乙立変電所	110	6	2	42	19	熱容量	19	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	※1
S4	窪田変電所	22	6	1	3	3	熱容量	3	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	※1
S5	多伎変電所	22	6	1	3	3	熱容量	1	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	※1
S6	大田変電所	66	6	1	5	5	熱容量	1	0	不可 #3	-	適用	-	基S24-1	※1
S7	仁万変電所	66	6	2	33	14	熱容量	6	0	不可 #3	-	適用	-	基L22	
S8	川本変電所	66	6	2	19	9	熱容量	7	0	不可 #3	-	適用	-	基L22	
S9	明塚変電所	66	6	2	11	5	熱容量	5	0	不可 #3	-	適用	-	基L22	
		110	66	1	42	42	熱容量	8	0	不可 #2	-	適用	-	基L22	※1
S10	潮変電所	110	22	1	9	4	熱容量	4	0	不可 #2	-	適用	-	基L22	※4
		110	6	1	14	9	熱容量	8	0	不可 #3	-	適用	-	基L22	※4
S11	羽須美変電所	110	6	1	4	4	熱容量	4	0	不可 #2	-	適用	-	基L22	※4
		110	22	1	9	4	熱容量	4	0	不可 #2	-	適用	-	基L22	※4
H1	田所配電塔	110	6	1	9	9	熱容量	8	0	不可 #3	-	適用	-	基L22	※1
H2	末島配電塔	22	6	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #3	-	適用	-	基L22	※1
H3	頓原配電塔	22	6	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #3	-	適用	-	基L22	※1

○シート④

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
L1	滝山川金城線	110	2	306	153	熱容量	76	0	不可 #4	-	-	-	-	
L2	金城連絡線	110	2	410	205	熱容量	0	0	可	110	-	-	-	
L101	温泉津仁万線	66	1	53	53	熱容量	50	0	不可 #1	-	-	-	-	※1
L102	江津温泉津線	66	1	53	53	熱容量	17	0	不可 #1	-	-	-	-	※1
L103	桜江矢上線	66	1	43	43	熱容量	34	0	不可 #1	-	-	-	-	※1
L104	八戸川線	66	1	-	-	熱容量	41	0	-	-	-	-	-	◇
L105	桜江江津線	66	1	43	43	熱容量	34	0	不可 #1	-	-	-	-	※1
L106	金城江津線	66	2	158	79	熱容量	0	0	可	76	-	-	-	
L107	敬川支線	66	2	158	79	熱容量	68	0	可	79	-	-	-	
L108	金城浜田線	66	2	130	65	熱容量	37	0	可	65	-	-	-	
L109	下府支線	66	2	102	51	熱容量	51	0	可	51	-	-	-	
L110	周布川線	66	1	-	-	熱容量	22	0	-	-	-	-	-	◇
L111	周布川第二支線	66	1	-	-	熱容量	27	0	-	-	-	-	-	◇
L112	浜田周布線	66	1	53	53	熱容量	33	0	不可 #1	-	-	-	-	※1
L113	周布三隅線	66	1	53	53	熱容量	34	0	不可 #1	-	-	-	-	※1
F1	矢上連絡線	22	1	14	14	熱容量	14	0	不可 #1	-	-	-	-	※1
F3	日貫線	22	1	13	13	熱容量	11	0	不可 #1	-	-	-	-	※1

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
S1	温泉津変電所	66	6	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #3	-	-	-	-	※1
S2	矢上変電所	66	22	1	14	4	熱容量	4	0	不可 #2	-	-	-	-	※4
		66	6	1	9	9	熱容量	9	0	不可 #3	-	-	-	-	※1
S3	桜江変電所	66	22	1	9	4	熱容量	3	0	不可 #2	-	-	-	-	※4
		66	6	2	9	3	熱容量	3	0	不可 #3	-	-	-	-	
S4	江津変電所	66	6	2	28	14	熱容量	8	0	不可 #3	-	-	-	-	
S5	敬川変電所	66	6	1	14	9	熱容量	0	0	不可 #3	-	-	-	-	※4
		110	66	3	171	114	熱容量	0	0	可	45	-	-	-	※2
S6	金城変電所	110	22	1	17	4	熱容量	0	0	不可 #2	-	-	-	-	※4
		66	22	1	14	4	熱容量	4	0	不可 #2	-	-	-	-	※4
		66	6	1	9	9	熱容量	1	0	不可 #3	-	-	-	-	※1
S7	浜田変電所	66	6	2	28	14	熱容量	14	0	不可 #3	-	-	-	-	
S8	下府変電所	66	6	1	19	9	熱容量	9	0	不可 #3	-	-	-	-	※4
S10	周布川第二変電所	66	6	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #3	-	-	-	-	※1
S11	周布変電所	66	22	1	9	4	熱容量	4	0	不可 #2	-	-	-	-	※4
		66	6	2	19	9	熱容量	9	0	不可 #3	-	-	-	-	
H1	市木配電塔	22	6	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #3	-	-	-	-	※1
H2	日貫配電塔	22	6	1	5	5	熱容量	4	0	不可 #3	-	-	-	-	※1

○シート⑤

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
L1	東益田連絡線	110	2	410	205	熱容量	12	0	可	186	-	-	-	
L2	東益田線	110	2	262	131	熱容量	0	0	可	93	-	-	-	
L4	澁川支線	110	2	216	108	熱容量	0	0	可	57	-	-	-	
L5	匹見支線	110	1	36	36	熱容量	0	0	不可 #1	-	-	-	-	※1
L6	打梨六日市線	110	2	170	85	熱容量	6	0	可	85	-	-	-	
L101	東益田三隅線	66	1	51	51	熱容量	22	0	不可 #1	-	-	-	-	※1
L102	三隅川線	66	1	-	-	熱容量	35	0	-	-	-	-	-	◇
L103	益田連絡線	66	2	158	79	熱容量	65	0	可	79	-	-	-	
L104	高津支線	66	1	49	49	熱容量	43	0	不可 #1	-	-	-	-	※1
L105	豊川線	66	2	80	40	熱容量	26	0	可	40	-	-	-	
L106	日原線	66	2	80	40	熱容量	32	0	可	40	-	-	-	
L107	津和野線	66	2	64	32	熱容量	31	0	可	32	-	-	-	
F1	安富線	22	1	13	13	熱容量	11	0	不可 #1	-	-	-	-	※1

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
S1	三隅変電所	66	6	2	11	5	熱容量	4	0	不可 #3	-	-	-	-	
S2	東益田変電所	110	66	2	114	57	熱容量	33	0	可	38	-	-	-	
		66	6	1	9	9	熱容量	9	0	不可 #3	-	-	-	-	※1
S3	益田変電所	66	22	1	14	4	熱容量	3	0	不可 #2	-	-	-	-	※4
		66	6	3	42	14	熱容量	14	0	不可 #3	-	-	-	-	
S4	高津変電所	66	22	1	14	4	熱容量	4	0	不可 #2	-	-	-	-	※4
		66	6	1	19	9	熱容量	4	0	不可 #3	-	-	-	-	※4
S6	日原変電所	66	6	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #3	-	-	-	-	※1
S7	津和野変電所	66	6	1	14	9	熱容量	8	0	不可 #3	-	-	-	-	※4
S8	六日市変電所	110	22	1	9	4	熱容量	4	0	不可 #2	-	-	-	-	※4
		110	6	1	14	9	熱容量	5	0	不可 #3	-	-	-	-	※4
S9	澁川変電所	110	6	1	1	1	熱容量	1	0	不可 #3	-	-	-	-	※1
S10	匹見変電所	110	6	1	3	3	熱容量	1	0	不可 #3	-	-	-	-	※1
H1	安富配電塔	22	6	1	5	5	熱容量	4	0	不可 #3	-	-	-	-	※1

○シート⑥

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
							当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
L1	西郷黒木線	22	1	6	6	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	陸島
L2	西郷海士線	22	1	11	11	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	陸島
L3	黒木西ノ島線	22	1	16	16	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	陸島

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	ノンファーム型接続	ノンファーム適用系統		備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮				当該設備	上位系のノンファーム設備	
S1	西郷発電所	22	6	2	19	9	熱容量	-	-	-	-	-	-	陸島	
S2	黒木発電所	22	6	1	5	5	熱容量	-	-	-	-	-	-	陸島	
S3	海士変電所	22	6	1	9	9	熱容量	-	-	-	-	-	-	陸島	